

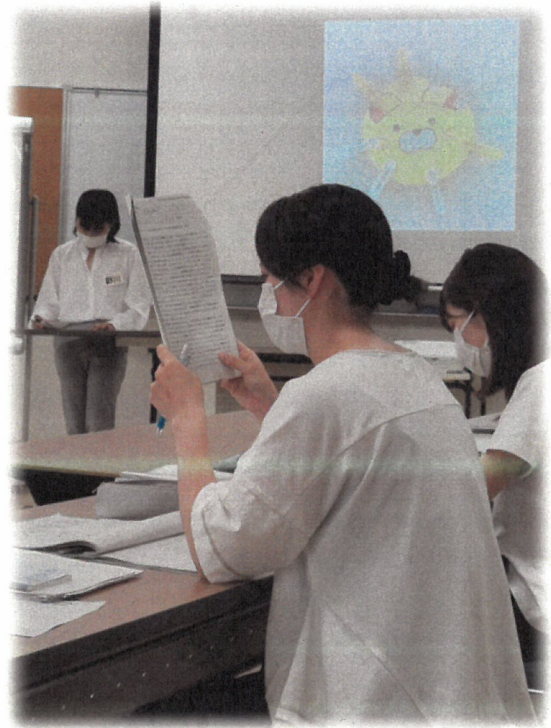
## 発達段階別看護論実習Ⅲ（老年看護学）の紹介

発達段階別看護論実習Ⅲ（老年看護学）では、回復期リハビリテーション病棟、障がい者入院病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟のいずれかにおいて、入院している高齢者を受け持ち看護を実践しています。

コロナ禍において、高齢者や学生自身の健康を守るため感染予防対策に取り組みながら、看護師長・実習指導者と意見交換し個別性のある看護実践を目指しています。

実習最終日には、学内において受け持ち高齢者のケース発表会を行い、臨地の場において認知症や障がいをもつ高齢者の方々との出会いから、観察や高齢者の生活史を踏まえた看護実践の重要性等の学びを共有します。そして、この機会を通して実習体験の振り返りを行い、今後も成長し続けていくための自己課題を発見する機会となっています。

（老年看護学担当：平井智重子）



ケース発表会の様子